

「次世代型教育推進セミナー」に参加しました。

7月29日（金）、一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）で開催された「次世代型教育推進セミナー ～アクティブ・ラーニングについて考える～」に参加しました。

このセミナーは、独立行政法人教員研修センターの主催で、全国から先着順で150名が参加しました。茨城県からも数校の教頭先生が参加していました。

午前中は、文部科学省初等中等教育局教育課程課の合田哲雄課長から「学習指導要領改訂の動向」と題して、70分間の講義がありました。去る5月26日（木）の全国高等学校長協会研究協議会で説明いただいた時は、30分間でしたが、今日はじっくり聴くことができました。ドリーム第33号でも書いたとおり、合田課長さんは「学習指導要領改訂のキーマン」です。その方から直接解説していただき、大変勉強になりました。

午後は、「アクティブ・ラーニング」に関する研究の推進地域・実践フィールド校による成果発表とともに、小学校の授業映像を見たあと、グループでALについて考察するワークショップがありました。皆さん初対面でしたが、楽しそうに一生懸命活動していました。やはり、ALはこのようなセミナーに参加して、「実際に体験すること」が一番だと思います。私と一緒にの班の若い先生方（東京の高校・神奈川の中学校）は、「ALを学んで自分の授業に活かしたい。同僚の先生に伝えたい。」という意欲にあふれていました。

